

追悼

—— ニコラス・ジョン・ハブラーケン先生を偲んで



ニコラス・ジョン・ハブラーケンMIT名誉教授が10月21日、オランダ、アペルドールンの高齢者施設で逝去された。95歳の誕生日を迎えられる直前のことであった。MITを退職され母国オランダに戻られてからも、講演や執筆など元気に活躍されていたが、半年ほど前から体調を崩されていた。教授はインドネシアで幼少期を過ごされ、父の蔵書にあったアムステルダム派の建築の本を見たのがきっかけになり、建築家になりたいと考えるようになった。カンポンを歩き回り、そこでの生活に活気があり、秩序だったものであると感じていたという。戦後、オランダに渡り、1948年から1955年までデルフト工科大学で建築を学んだが、当時から戦後建設された集合住宅の計画・建設において居住者が不在であることに課題を感じ、イタリアなどの旧市街地の都市の構造 (urban tissue, field) に関心を持っていた。

1961年、教授の理論の原点となった「サポート、マスハウジングに替わるもの」を上梓し、住宅生産の主体は居住者であると主張、住宅の設計・建設におけるサポート (スケルトン) とインフィルの分離について考察し、住宅産業の未来についても提言した。1965年から1975年まで建築研究所SARの初代所長として、adaptableな住宅の設計手法などの研究に携わった。1967年、アイントハーゲン工科大学に創設された建築学部の初代学部長に就任、1975年から1989年までマサチューセッツ工科大学の教授として、都市と建築の設計理論と設計手法の研究に注力され、多様性や経時変化に着目したThematic Designの講義と演習などを担当された。教授の主張に共感した建築家や大学関係者たちがCIBにワーキング・コミッションW104 Open Building Implementation (オープンビルディングの推進) を設置し、この四半世紀、国際的な広がりをもって研究と社会実装が進められてきた。オランダの建築家フランス・ファン・デル・ヴェルフさんなど、世界各地に教授の考え方にに基づき集合住宅を設計した建築家がいる。教授はインフィル産業の発展にも強い関心をお持ちで、マツーラ・システムと呼ぶインフィルシステムの開発には、自ら関わられた。

日本の大学関係者や建築家とも長く交流され、その理論はKEP (Kodan/Kikou Experimental housing Project)、CHS (センチュリーハウジングシステム)、KSI (公団型/機構型スケルトン・インフィル) や大阪ガスの実験住宅NEXT21などに影響を与えてきた。日本の「長期優良住宅の普及の促進に関する法律」を、時間の観念を取り入れた住宅に関する世界初の法令だと評価されていた。ハブラーケン教授は、95年に近い生涯において、世界各地の伝統的な街区の分析を通して都市・建築の本質を探究し、居住者の主体性や建築家の役割について考えを深めてこられた。オランダ文化界の最も栄誉あるオーヴル賞 (1996年) など国際的な賞を数多く受賞されている。

これまでご指導いただいたことに心から感謝し、ご冥福をお祈り申し上げます。

[南一誠|芝浦工業大学名誉教授]

略歴

- 1928年 インドネシア、バンドン生まれ (10月29日)
- 1948-55年 オランダのデルフト工科大学にて建築を学ぶ
- 1955-57年 オランダ空軍に勤務
- 1958-60年 デルフト工科大学建築学部講師 (インテリア設計担当)
- 1960-62年 フリーの建築家
- 1962-65年 オランダ、フォーブルグのLucas & Niemeyer建築事務所勤務
- 1965-75年 SAR (Stichting Architecten Research/Foundation for Architects Research) 所長
- 1967年 アイントハーゲン工科大学教授、初代建築学部長
- 1975-89年 マサチューセッツ工科大学 (MIT) 教授、(1981年まで Head of Architecture Department)
- 1994年 日本建築学会 名誉会員
- 2023年 オランダ、アペルドールンにて逝去 (10月21日)

主な受賞

- 1988年 Creative Achievement Award, the Association of Collegiate Schools in the US
- 1979年 David Roëll prize, Dutch Prince Bernhard Fund
- 1996年 Oevre Award, National Foundation for Art, Design, and Architecture (BKVB oeuvre prijs) in the Netherlands
- 2003年 Knight of the Royal Order of the Dutch Lion
- 2003年 Kubus for advancing the standing of Architecture, BNA, Dutch Association of Architects

主な著書

- Supports, an Alternative to Mass Housing, 1972 (オランダ語、1961)
- The Structure of the Ordinary, MIT Press, 1998
- Palladio's Children, Taylor & Francis, 2005
- Conversations With Form : A Workbook for Students of Architecture, Routledge, 2014
- The Short Works of John Habraken : Ways of Seeing/Ways of Doing, Routledge, 2023
- Open Building for Architects, Professional Knowledge for an Architecture of Everyday Environment, Routledge, Stephen H. Kendall 教授と共著 (近日中に出版予定、ご逝去前に入稿)

ホームページ

<https://www.habraken.com/>

関連情報

- Thematic Design (設計手法と事例の紹介)
<https://thematicdesign.org/>
- DE DRAGER/A film about Architect John Habraken, 2013
<https://vimeo.com/81987812>